

第106回 薬事エキスパート研修会

医薬経済学の最近の動きと日本の薬価制度について

主 催	一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (旧 日本公定書協会)
後 援	日本製薬団体連合会 米国研究製薬工業協会(PhRMA)
	日本製薬工業協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
	社団法人東京医薬品工業協会 日本 CRO 協会
	大阪医薬品協会 社団法人日本医薬品卸業連合会
	日本 OTC 医薬品協会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
	日本ジェネリック製薬協会 公益財団法人 MR 認定センター

従来、欧米やいくつかのアジア諸国と異なり、医薬品の保険償還や薬価の設定に医薬経済学的手法が全く適用されて来なかったわが国においても、昨年11月に中医協において医療経済評価の検討が提案され、厚労省が本年5月「社会保障改革に関する集中検討会議」に提出した資料においても「薬価・医療機器の保険償還価格等の設定におけるイノベーションや医療経済的な観点を踏まえた評価のさらなる検討」及び「先発医薬品を含む医薬品の価格設定等のあり方を費用対効果の観点から検討するなど」との表現が見られ、厚生労働省の研究班でも検討が行われたと報じられています。

このような背景から、本財団では今まで、主として海外の動向を中心に医薬経済学的评价に関する研修会を行ってまいりましたが、今回は医薬経済学の最近の動きと日本の薬価制度に関する研修会を急遽、企画致しました。

本研修会においては、まずメディアの立場から問題提起としてわが国の薬価制度について論じて頂き、その後、医療経済(医薬経済)学の専門家から、医薬経済学からみた薬価制度の論評及び医薬経済学評価において重要な役割を果たしているQOL(クオリティ・オブ・ライフ)研究の新たな動き等について述べて頂き、医薬経済学的评价と今後の日本の薬価制度のあり方などについて討論して頂くことと致しております。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成23年11月2日(水) 13:00~17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は財団ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記の払込取扱票にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の払込取扱票使用
法人会員以外：

ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票使用

振込先：(財)レギュラトリーサイエンス財団

振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。平成23年10月3日(月)より聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) 会社名、所属
- (2) 聴講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「106-薬価制度」の文字
- (5) e-mail (研修会の案内をご希望の方のみ)

* ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金はご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成23年10月19日(水)以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、財団ホームページ(<http://www.pmrj.jp>)をご覧ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- ・ 法人会員 1名につき 10,000円
(法人会員は1口につき4名が会員扱い)
- ・ 個人会員/非会員 1名につき 15,000円
- ・ 行政/アカデミア/医療機関/学生 1名につき 3,000円

なお、受講者の方は、わが国の医薬品リスクマネジメントに関連する薬事法や制度等を解説した初めての日英対訳本「日本における医薬品のリスクマネジメント」を特別価格 9,900円でご購入頂けます。

ご希望の方は受講料に加算して振込用紙にてお振込下さい。研修会当日にお渡し致します。

3. 問合先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
電話 03-3400-5644 (薬事エキスパート研修担当)

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 当日、撮影及び録音はご遠慮願います。
- 原則として電話、FAX、での受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第106回 薬事エキスパート研修会
医薬経済学の最近の動きと日本の薬価制度について

平成23年11月2日(水) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12:00)

13:00~13:05 開会挨拶

寺尾 允男

(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:05~13:55 先端医薬開発に、今や不可欠となった医薬経済学

宮田 満

(日経BP社医療局主任編集委員)

13:55~14:45 医薬経済学の最近の動きー医療イノベーションを薬価算定に反映できるか

鎌江 伊三夫

(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任教授)

14:45~15:10 休憩

15:10~16:00 患者のQOL評価研究の米国最新事情ー臨床研究と医薬経済学の橋渡しー

下妻 晃二郎

(立命館大学総合理工学院生命科学部生命医科学科
(医療政策・管理学) 教授)

16:00~17:00 総合討論

共同司会：福田 敬 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻
疫学保健学講座 臨床疫学・経済学分野准教授)

津田 重城 (医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
常務理事)

(演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。)

一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 (略称 レギュラトリーサイエンス財団)

*一般財団法人日本公定書協会は、平成23年6月17日より名称変更致しました。

<http://www.pmrj.jp>